

トルクエクステンションバーシリーズ取扱説明書

インパクトレンチでボルトを締める時、このトルクバーを使うと規定のトルク値以上は締まりません。

なぜならば、必要以上のトルクがトーションバー[ねじり棒バネ]の原理により逃がされるからです。

但し、インパクトレンチの出力と各種トルクバーの設定条件が一致する場合のみです。インパクトレンチのパワーが高過ぎる場合や低過ぎる場合には、正しい効果が発揮できません。

★トルクバーの型式と適応範囲 差込 1/2 インチ[12.7 ミリ] 精度±5%

型式	設定トルク	★必要な入力トルク
HEN-487065	90Nm [グリーン]	★140Nm
HEN-487075	100Nm [ブラック]	★150Nm
HEN-487080	110Nm [イエロー]	★160Nm

使用方法…

①インパクトレンチは空気圧 7 kg f/c m²で作動するものを基準に設計されています。

②考え方として HEN-487080 の 110Nm [イエロー] を使用する場合 **110Nm×1.5 倍で約 160Nm** の入力が必要となります。★**1.5~2 倍までが許容範囲です。**

例として空研製 KW1600[出力 100-300Nm]を使用した場合、ダイヤル 1 で 100Nm、ダイヤル 2 で約 150Nm、ダイヤル 3 で約 200Nm、ダイヤル 4 で約 250Nm、ダイヤル 5 で約 300Nm という出力設定となっていますが、**約 160Nm** の入力が必要なのでダイヤル 3 の**約 200Nm** で締め付ければ問題ありません。

これが例えば空気圧 12 kg f/c m²で作動させると単純に入力が2倍になるのでダイヤル 3 の**約 200Nm→400Nm** となり完全にオーバートルクです。

必ず空気圧は 7 kg f/c m²での使用としてください。

③インパクトレンチの消耗状態や種類、空気圧やホースの径、締め付けるボルトの状態などにより出力は変化します。またお使いのインパクトのスペックが不明な場合は締め付け後にトルクレンチで確認してください。

ボルトが動く場合はパワー不足です。インパクトのパワーダイヤルを1クリック上げて再度確認してください。

★使用状態や状況により製品寿命に差が出ますのでご了承下さい。

お問い合わせ (株)ハスコー TEL048-461-0101 Fax048-461-1177